

先日は手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録でレポートを作成しましたので、ご覧下さい。次回9月の「てがたん」は9月14日(土)で「バッタと秋の花」がテーマです。是非ご参加下さい。

*市民スタッフの方へ 次回のとがたん下見&打ち合わせは9月7日(土)です。よろしくお願いいたします。

8月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→用水路→手賀沼遊歩道
- 観察日時/天気 2013年8月10日(土) 10:00~12:00 / 晴れ
- 参加人数 18名(一般9人、子ども9人)
- 市民スタッフ 6名(伊東茂子、岡廣志、小泉伸夫、竹本周平、松村定雄、保田行弘、)
- 鳥博職員 2名(塩田いづみ、染谷実紀)

観察記録 — 8月てがたんで観察した生き物リスト—

【鳥類】

カモ科：カルガモ/カイツブリ科：カイツブリ/サギ科：アオサギ/クイナ科：オオバン/ムクドリ科：ムクドリ/スズメ科：スズメ/
外来種や家禽：ドバト

【魚類】

コイ科：モツゴ、ツチフキ、タイリクバラタナゴ/ドジョウ科：ドジョウ/メダカ科：ミナミメダカ/ハゼ科：ヨシノボリの仲間(幼魚)、ウキゴリ

【両生類】 アカガエル科：ウシガエル(声)

【貝類】 サカマキガイ科：サカマキガイ/タニシ科：ヒメタニシ

【甲殻類】 テナガエビ科：スジエビ

【昆虫・クモ】

トンボの仲間：アオモンイトトンボ、コシアキトンボ、シオカラトンボ、ショウジョウトンボ、チョウトンボ/
バッタの仲間：ショウリョウバッタ、ショウリョウバッタモドキ(幼)、オンブバッタ、コバネイナゴ(幼)、ハネナガイナゴ、
トノサマバッタ(幼、成)、クルマバッタモドキ(幼)、ツチイナゴ(幼)/カメムシの仲間：アブラゼミ、ミンミンゼミ、
ツクツクボウシ、ニイニイゼミ/チョウ・ガの仲間：キチョウ、ナミアゲハ、アオスジアゲハ、ヤマトシジミ/
クモの仲間：アシナガグモの仲間、ナガコガネグモ

【花】

キク科：ヒメジョオン/ツユクサ科：ツユクサ/アカネ科：ヘクソカズラ/カタバミ科：カタバミ/オモダカ科：ヘラオモダカ、オモダカ/
イネ科：メヒシバ、エノコログサ/ブドウ科：ヤブガラシ/ヒルガオ科：コヒルガオ/トウダイグサ科：エノキグサ/クマツヅラ科：ボタンクサギ/
ガマ科：ガマ、ヒメガマ/ヤマノイモ科：ヤマノイモ/ヒルムシロ科：ガシャモク(植栽)

8月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「手賀沼の中の生き物観察」でした。

魚類は7種観察しました（モツゴ、ツチフキ、タイリクバラタナゴ、ドジョウ、ミナメダカ、ヨシノボリの仲間、ウキゴリ）。案内人の岡さんからヨシノボリの話を聞きました。



今月の案内人：岡 廣志さん

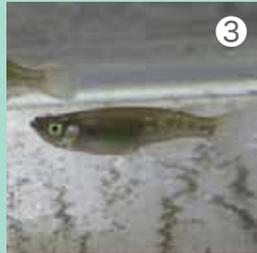
保田 行弘さん



水路で見つけたドジョウ



暑い時期（6～9月）に咲くツククサ



ミナメダカは群れで泳ぐ姿を観察



背びれと尾びれの付け根に黒いはん紋があるウキゴリ



小さな紫色の花をつけるコナギ



仕掛けにはモツゴもたくさんかかりました



8月てがたんの観察生物とルート



手賀沼ではモツゴ、タイリクバラタナゴ、ツチフキ、スジエビを観察



草むらで見つけたショウリョウバッタモドキ(幼虫)



頭に赤い線があるヨシノボリの仲間(幼魚)



水際で休むカルガモ



漁協前でみつけたボタンクサギの花



体の下に口があるツチフキ

今月の鳥 カイツブリ

(カイツブリ目カイツブリ科)

カイツブリは手賀沼の地元では「むぐっちょ」「もぐっちょ」などと呼ばれていました。体の後方についたあし、木の葉のような形をした水かき、扁平なあしの断面は全て水中生活への適応です。水中を自在に動き回り、小魚やエビを捕らえて食べます。

水面に水草を積み重ねた浮き巣を作ります。4～6個位の卵を産み、雌雄交替で20～25日抱卵します。ヒナは孵化後しばらくすると水面に泳ぎ出すことができます。疲れると親鳥の背中に乗ったり、羽毛の間に入って休みます。



カイツブリ



カイツブリの巣

てがたんにご参加ありがとうございました。次回の参加もお待ちしております！